



第133号 2017年1月

発行：萩ネットワーク協会

〒758-8555 山口県萩市大字江向510 萩市役所広報課内

TEL 0838・25・3178 FAX 0838・26・5458

萩市ホームページ <http://www.city.hagi.lg.jp/>

主な内容

萩市長 新年のごあいさつ	P3
明治日本の産業革命遺産と萩「長州と薩摩の密航留学生」	P4
ズームアップ 山本博通(東京都)	P6
レンタルハウス「はぎ風鈴」(萩市)	P7
「萩ガラス工房」代表 藤田洪太郎(萩市)	P8
「萩野菜ピクルス」棕木章雄(山口市)	P9

2016年10月、幕末に英国留学した長州ファイブの一人で「鉄道の父」井上勝の銅像がJR萩駅前に建立された。樺の地元有志により1月5日まで「萩イルミネフェスタ」が開催中。

萩駅(旧樺村)は1925(大正14)年に開業、鉄道の駅は三角州の外側、玉江駅(旧山田村)、東萩駅(旧樺東村)に設けられた。萩町と周辺三村との町村合併の議論の中で、三角州を迂回することになったとの新聞記事がある。井上勝が推進した近代化の象徴である鉄道の敷設が、三角州内の町並みを分断することなく、結果として城下町の町並みを守ったといえる。

萩駅舎前に鉄道の父・井上勝像

写真/マキタオモリツグ



6月から豪華寝台列車「瑞風」運行

夏に下関～萩間に 新観光列車を導入

秋に大型観光キャンペーン



デザインコンセプトは上質さの中に懐かしさが感じられる「ノスタルジック・モダン」

■運行コース

1	山陽コース (下り、1泊2日)	京都・大阪駅～倉敷駅～岩国駅～下関駅
2	山陽コース (上り、1泊2日)	下関駅～宮島口駅～尾道駅～大阪・京都駅
3	山陰コース (下り、1泊2日)	大阪・京都駅～城崎温泉駅～ 東萩駅 ～下関駅 (出発日は6/17、7/1、7/22、9/16)
4	山陰コース (上り、1泊2日)	下関駅～出雲市駅～鳥取駅～京都・大阪駅
5	山陽・山陰コース (周遊、2泊3日)	京都・大阪駅～岡山駅～宍道駅・松江駅～東浜駅～京都駅

今年6月17日(土)からJR西日本の豪華寝台列車「トワイライトエクスプレス 瑞風」の運行が始まる。下関駅と大阪・京都駅を發着駅とする10両編成、定員は最大で34人。JR九州の人気豪華寝台列車「ななつ星in九州」のように、停車駅沿線の活性化が期待される。

京都・大阪駅～下関駅間の山陰線または山陽線を走る1泊2日の片道コースと2泊3日の周遊コースがあり全5コース。1日1回の立ち寄り観光があり、萩市に停車するのは5コースのうち山陰下りコース「文豪と維新の歴史をたど

る旅」。東萩駅で下車し、松下村塾での特別講話と萩焼窯元を訪問し、萩駅から乗車する予定。

瑞風の車体は、大阪～札幌間の運行を終了した人気のトワイライトエクスプレスの伝統を受け継いだ深緑色。客室車(6両)は1両1室のスイートと1両3室のツイン・シングルで全16部屋、このほか、デッキが付いた展望車、食堂車やラウンジカーなどを備える。

車内を彩るアート・伝統工芸品20点のうち、山口県からは萩焼と萩ガラスが選ばれた。萩市にも停車することから、萩ガラス工房の萩切子ガラスと三輪窯の萩焼茶碗などを車内に展示するとともに、客室でも使用する。

料金は1人27万～125万円、6～9月出発分の予約を1月末まで受付中。申し込みは瑞風公式ホームページやツアーデスク(0570・000・3250)から。

停車駅となる東萩駅は、瑞風の運行までに、駅舎に「格子」や「なまこ壁」の装飾をあしらひ、城下町をイメージした外観に改修される。和を演出し、外国人観光客に駅舎の魅力をPRする狙いもある。

山陰線に新観光列車

また、JR西日本では今年秋(9～12月)の大型観光キャンペーン「幕末維新やまぐちフェスティナー

シオンキャンペーン」(DC)に向け、現在山陰線の新下関～仙崎駅間で運行している「みずぎ潮彩号」を改造し、夏に同線の下関市～萩市間に新しい観光列車を導入する。2018年に明治維新150年を迎えることもあり、運行区間を萩市まで延長、下関市から長門市を経由して萩市まで運行する。

みずぎ潮彩号は2007年から始まり、土日曜と祝日に1日1往復の運行。新列車は日本海の絶景

赤い車体のまあるバス 利用者がのべ400万人を突破

萩市の中心部を走る「萩循環まあるバス」の利用者が11月1日、2000年の運行開始以来、累計で400万人を突破した。年間平均20万人以上が利用し、2015年度は大河ドラマ「花燃ゆ」や世界遺産効果で利用者数が過去最高の27万人だった。

「萩循環まあるバス」は2000年(平成12)4月、萩市民病院や福祉施設ががやきの椿地区への移転に伴い、市民の利便性を図るとともにまちじゅうに点在する観光施設を結ぶ交通手段として運行を始めた。萩市役所を始発(7:00)、終発(18:00)にして椿東、椿

をセールスポイントに、沿線の食や地酒を楽しめるサービスを提供する。全席指定席で2両編成の予定。

「フェスティナーシオンキャンペーン」(DC)とは、JRグループ旅客6社と自治体、観光業者が共同で実施する大型観光キャンペーン。2016年中国地方のDCは「晴れらんまん 岡山の旅」(4～6月)、山口県のDCは



△高齢者にやさしい小型低床ノンステップバスを全国に先駆けて導入

地区を回る東回りと西回りの2コース、4台が30分間隔で運行所要時間は1周約1時間。料金はワンコイン100円、東回りは「松陰先生」、西回りは「晋作くん」の愛称が付けられ、市民や観光客に親しまれている。

日本最大の木造校舎に、
日本屈指の幕末ミュージアム
萩・明倫学舎
3月4日(土)
オープン



2015年の大河ドラマ「花燃ゆ」、世界文化遺産の登録に続いて、今年2017年はJRのデスティネーションキャンペーンが始まり、来年2018年は明治維新150年の大きな節目を迎える。萩市では旧萩藩校明倫館跡地

(江向)に立つ旧明倫小学校舎を改修した「萩・明倫学舎」が今年3月4日にオープンする。

観光振興について野村萩市長は、「歴史的な町並みを宝物として守ってきたが、この宝物は萩だけでなく日本の宝物としてしっかりと守り、活用していくことが、これから萩が残っていく大きな拠り所となる。明倫学舎は、新たな観光起点となる施設であり、ここで萩のいろいろな歴史を学んでもらい、市内各所にある遺産や文化財を見てもらいたい」と話している。

新たな観光起点

本館には「観光インフォメーションセンター」と萩のジオ(大地)めぐりの出発点となる「ジオパークビジターセンター」、2号館には15年7月に世界文化遺産に登録された「明治日本の産業革命遺産」を紹介する「世界遺産・ジオセンター」と「幕末ミュージアム」が設置される。

明倫学舎前には市内有数の大型駐車場(普通車180台、大型バス10台)があり、防長・JRバスの「スーパースタンド」はJR新山口駅と明倫学舎を結ぶ直行バス(1日8便、4往復)。JRバスは10月から山口駅萩・明倫センター間に路線再編された。維新150年の2018年度までには、萩博物館前を走る県道今

魚店金谷線ハイパスも開通し、明倫学舎から博物館、城下町、堀内伝建地区への観光も便利になる。

昭和10年建の木造校舎

全国に残っていた多くの木造校舎は、太平洋戦争末期、日本の主要都市や中小都市を爆撃した米軍の空襲により失われた。萩は震災、火災、戦災など大きな災害を被らなかったことにより、江戸時代の町並み、また1935(昭和10)年建築の木造校舎4棟が奇跡的に残った。

幕末ミュージアム

日本でも有数の収集家である小川忠文氏(下関市在住)から萩市に寄贈された幕末維新期の歴史・科学技術史4000点を超える資料のうち、特に貴重な実物資料約400点を展示する。貴重で、展示数において日本屈指の他に類を見ないスケールとなっている。

担当の道迫真吾・萩博物館学芸員は「萩反射炉をはじめとする物件が世界遺産に登録されており、近代化の前史、下地の部分を物語る強力な証拠となる幕末ミュージアムを世界遺産ビジターセンターとセットでぜひ見て欲しい」と話している。
☆施設内容など詳しくは「萩・明倫学舎」ホームページをご覧ください。



新年のごあいさつ

萩ネットワーク協会会長
萩市長 野村興兒

旧年は世界が今までは異なつた動きを始めたのではと思いたくなる出来事の多い年でした。欧州では、英国のEUからの離脱騒動に始まり、各国の移民・難民受け入れに厳しい規制をかけようとの動きがあります。米国では、アメリカ・ファーストを標榜するトランプ氏が次期大統領に決まりました。一連の動きは、「連帯から孤立へ」との1930年代の世界の保護主義の流れを想い起こさせます。

明治維新150年

さて、わが国では「東京一極集中を是正し、地方の人口減少に歯止めをかけよう・・・」との国挙げての施策の展開が始まりました。萩市も地方版総合戦略を策定し、一人でも多くの若い世代の定着、子育て環境の整備等、できることは全て試みようとの意気込みで頑張っているところです。

一昨年の大河ドラマ、世界文化遺産登録に続き、平成30年はいよいよ明治維新150年を迎えます。現在多くの関係行事を準備中ですが、なかでも「萩・明倫学舎」の3月4日オープン、少し遅れますが藩校明倫館の孔子廟の整備を計画しています。旧明倫小学校の4棟の木造校舎は、学校校舎として現存するものとしては、規模・内容でわが国最大と言われています。この学舎を萩観光の起点として整備しています。また、萩には大照院本堂も完成します。藩校サミット、各学会の開催など多彩な記念事業を準備、計画しています。

自動車道の整備

萩の再生に最も重要な施策は、遅れている交通基盤の整備です。平成6年、8年に整備促進期成同盟会を設立した小郡・萩道路、山陰道(萩・益田間)が、いよいよ

末尾になりましたが、本年の皆様のご多幸をお祈り申し上げ、新年のごあいさついたします。

明治日本の産業革命遺産と萩

（番外編）長州と薩摩の密航留学生

もう一つの「薩長同盟」

以下では、二つの「薩長同盟」の意味について考えてみたい。

薩長の対立から同盟へ

幕末、長州藩と薩摩藩は、方針や考え方の違いから対立する時期があった。しかし、日本の将来に強い危機感をもつところでは一致していた。慶応二年（一八六六）、長州藩の木戸孝允、薩摩藩の西郷隆盛・小松帯刀は、土佐藩の坂本龍馬の仲介で「薩長同盟」を結ぶ。日本の危機を救つべく、二つの藩を中心にした新しい時代が切り拓かれる大きな画期となった。

嘉永六年（一八五三）、ペリー来航という未曾有の一大事を契機として、幕府・諸大名の間においては、鎖国を続けるか、開国するかで、意見が大きく分かれた。その後、従来通り幕府を支持するが、朝廷を尊重するかも、意見が分かれてゆく。日本国内は、対外方針と国内統治方針との二重構造で、国論の不一致という危機的狀態に陥つたのである。

一方、前年の慶応元年、異国の地イギリスの都ロンドンで、長州藩と薩摩藩がそれぞれ送り出した密航留学生により、いわばもう一つの「薩長同盟」が結ばれていた。留学生は、現在「長州ファイブ」と「薩摩スチューデント」として知られている。

こうして、幕府（將軍）に藩（大名）が臣従することが前提の幕藩体制の基盤がぐらつき、朝廷（天皇）の存在が大きく浮上する。文久二年（一八六二）長州藩が朝廷を尊重して尊王攘夷を藩是とする

薩長両藩は、それぞれ幕末という激動の時代にどう立ち向かい、危機をどのように乗り越えていったのであるか。薩長の若者たちは、異国の地で何を考え、その後どのように行動したのであるか。

で意見が対立することになる。具体的には、文久三年と翌元治元年（一八六四）の二度にわたり、薩長の衝突事件が勃発した。文久三年八月十八日、幕府支持

派（公武合体派）の薩摩藩と会津藩が連携し、朝廷尊重派（尊王攘夷派）の長州藩を京都から追放した（八月十八日の政変）。長州藩の薩摩・会津両藩に対する憎悪感情は、俗に「薩賊会奸」ともいわれるように、尋常ではなかったと伝えられる。長州藩は巻き返しを企て、元治元年七月十九日、京都御所を警備する薩摩・会津両藩を中心とする軍と干戈を交えた結果、惨敗を喫し「朝敵」となる（禁門の変、蛤御門の変）。さらに長州藩は同年八月五日以降、イギリス、フランス、オランダ、アメリカと下関で戦い完敗する（下関戦争）。

長州藩は、孤立無援、四面楚歌の窮地に追い込まれたのだ。

長州藩は、幕府との対決に抗しきれただけの軍力強化のため、西洋の新式の銃砲と軍艦の輸入が必要であった。しかし、「朝敵」の立場ではいかんとも難かった。そうした状況で、長州藩と外国商人との間をとりもつたのは、薩摩藩であった。

は、幕府と薩摩の連合、つまり挙国一致による幕藩体制の強化を自論んでいた。だが、幕府が旧来の独裁体制にこだわり続けるため、薩摩藩の思惑は行き詰まる。薩摩藩は幕府を見限り、長州藩を薩摩連合の提携者とすべく模索を開始したのである。

薩長両藩では行き違いやわだかまりもあつたが、互いの利害が一致して、慶応二年（一八六六）一月、薩長同盟（盟約）が結ばれた。長州藩と幕府が戦争になつた場合は薩摩藩が長州藩の後方支援をしたり、薩摩藩が「朝敵」長州藩の冤罪を晴らすための工作をしたりする約束で、その先には日本を欧米列強の脅威から守るという高次元の目標があつた。旧来の幕府独裁体制では、もはや日本の独立は維持できないという強烈な危機感があつたからである。こうして幕府の方針に反発する勢力が形成され、やがて討幕へと向かうことになる。

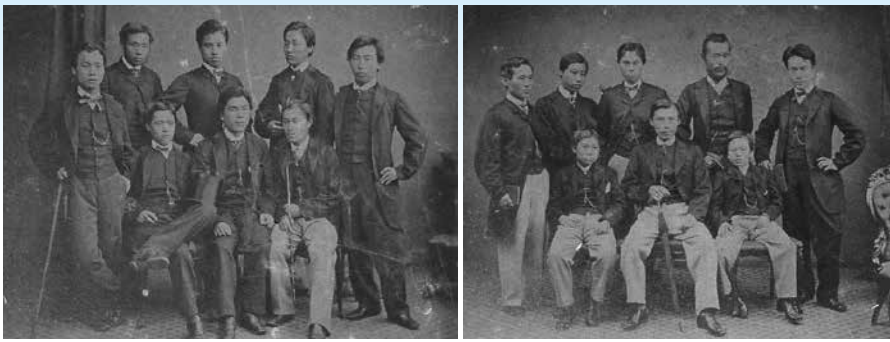
薩長の密航留学生派遣

話を一旦、ペリー来航後に戻すが、幕府は欧米列強に対抗するため、諸藩に軍力の強化を号令した。薩長両藩はそれに従い、大砲や軍艦の近代化に力を入れた。反射炉や造船所跡などはその証拠で、代表的なものが「明治日本の産業革命遺産」として世界遺産に登録された。

しかし薩長両藩ともに、自力での軍力の近代化には限界があることに気が付き始める。とくに、蒸気軍艦を中心とする海軍力の増強は非常に困難を極めた。薩長両藩の若手藩士は、本家本元の最先端の地イギリスへ行つて実地に学ぶしかないとの思いを強くしていった。長州藩留学生のリーダーは井上馨、薩摩藩留学生のリーダーは五代友厚であった。

先に留学を果たしたのは長州藩士である。文久三年（一八六三）五月、井上馨は、留学の仲介を依頼したイギリスのジャーディン・マセソン商会から、一人あたり千両、計五千両の渡航資金がかかるといわれ、路頭に迷いかけていた。しかし、金の問題で渡航を果たせぬというのでは男子の本懐にあらざると思ひ直し、大村益次郎を保証人として横浜の御用商人から借金をした。その際、重罪であることを承知のうえ、あえて不正を犯して長州藩の御用金一両を無断で担保に入れた。井上馨・遠藤謙助・井上勝・山尾庸三・伊藤博文の五名は「生きた器械」になるとの固い決意のもと、同年五月十二日、横浜を出港したのである。

後発の薩摩藩では、元治元年（一八六四）五、六月頃、五代友厚が建白書を提出した。五代は、攘夷論を徹底的に批判して開国・貿易を基本とする富国強兵論を主張



薩摩スチューデント 慶応年間薩藩藩費洋行者写真(鹿児島県立図書館蔵)



長州ファイブ(萩博物館蔵)

■長州・薩摩両藩が送り出した留学生の比較

長州ファイブ		薩摩スチューデント
毛利 敬親 (もうり たかちか)	藩主	島津 忠義 (しまづ ただよし)
369,000石	石高(表高)	729,000石
文久3年(1863)5月12日	出航年月日	慶応元年(1865)3月22日
5名	派遣人数	19名(視察員4名含む)
25.6歳(数え年)	留学生平均年齢	22.9歳(数え年)
横浜(神奈川県横浜市)	出港地	羽島(鹿児島県いちき串木野市)
海軍術に習熟した「生きた器械」の育成	留学の目的	幅広い科学技術の獲得と薩英の国際関係構築
自薦により突発的に発生したため無計画、藩首脳しか知らないため組織性を欠き、資金も貧弱	特徴	人材選抜や専門分野の割り当てなど計画性が高く、藩の組織的な支援と豊富な資金がある

し、清国(中国) 上海での貿易の必要性と、海外への留学生の派遣を提案した。さらに、砂糖輸出で得た利益により、蒸気軍艦や銃砲紡績機械などを西洋から買い付けることまで構想・計画していた。

薩摩藩は、文久三年(一八六三)の薩英戦争でイギリスの近代兵器の威力を熟知しており、五代の意見を公認して開成所(洋学校)から留学生を選抜する。慶応元年(一八六五)一月、新納久脩・寺島宗則・五代友厚・堀孝之の視察員四名、町田久成・島山義成・名越時成・村橋久成・朝倉盛明(田中静洲)・鮫島尚信・松村淳蔵(市来助十郎)・森有礼・高見弥一・東郷愛之進・吉田清成・長沢鼎(磯永彦輔)・町田申四郎・町田清蔵・中村博愛の留学生十五名、総勢十九名のイギリス派遣が決定した。一行は、同年三月二十二日、薩摩藩領の羽島(鹿児島県いちき串木野市) からロンドンへ向けて船出した。

イギリスで結ばれたもう一つの「薩長同盟」

文久三年(一八六三)に渡英した「長州ファイブ」のうち、井上馨と伊藤博文は、イギリスをはじめとする欧米四国が長州藩に攻撃をしかけるとの情報を得、元治元年(一八六四)三月、帰国の途につく。山尾庸三・井上勝・遠藤

謹助の三名は滯英を続け、勉学に励んだ。

慶応元年(一八六五)五月、「薩摩スチューデント」がロンドンに到着する。まもなく、その世話人ライル・ホームらの仲介により、長州の三名と面会する。打ち解けた両者は、一足先に来ていた長州藩士が薩摩藩士を案内する形で、ロンドン市内の兵器展示場や造船所など各所をめぐり、交流と見聞を深めた。若くして産業革命発祥の地イギリスの実情を目の当たりにしたことは、当時の日本人としては貴重な経験であり、彼らの存在自体が稀有なものとなった。当時イギリスは、工場生産力が群を抜いていたため「世界の工場」と呼ばれ、また世界各地に植民地を有していたため「太陽の沈まない国」とも呼ばれた強国であった。そうしたなか、長州の山尾庸三は、造船業で栄えるグラスゴーに行きたいとの希望を抱いていた。だが、国元からの送金が途絶え旅費に窮していた。山尾は、薩摩の町田久成に思いを打ち明け、費用の借用を相談する。町田は、薩摩藩の公金ではなく、留学生それぞれから一ポンドずつ集めて、合計で十六ポンドを山尾に渡した。山尾は、グラスゴーに移動し、ネピア造船所の見習工として働きながら、アンダーソン・カレッジにも通うことになる。異国の地ロンドン

ンで、薩長の若者たちに芽生えた友情は、藩の垣根を飛び越え、もう一つの「薩長同盟」とも呼ぶべき強い絆ができていたのである。

また、長州藩は慶応元年(一八六五)、井上馨ら五名に続き、山崎小三郎・南貞助・竹田庸次郎の三名をイギリスに密航させた。このうち山崎は、ロンドンで貧困に苦しみ衰弱する。ロンドン大学の化学教授アレキサンダー・ウィリアム・ウィリアムソン博士は、山崎を自宅に引き取り、妻のエマとともに懇篤に看病したが、山崎は慶応二年に二十二歳の若さで死亡した。山崎の遺骸は、ロンドン郊外のブルックウッド共同墓地に葬られ、葬儀には薩長両藩の留学生やウィリアムソン教授が参列した。ここにも薩長両藩留学生の絆を垣間見ることが出来る。

木戸や西郷らにより京都で結ばれた「薩長同盟」も、密航留学生によりイギリスで結ばれたもう一つの「薩長同盟」も、日本が近代統一国家に生まれ変わる過程で大きな意味をもった。幕府と藩が個別分散して、それぞれ独自に動く状況では、日本が欧米列強と対等な関係を構築することはできなかったからである。二つの「薩長同盟」は、日本が急速な近代化工業化を達成していくうえで重要な役割を果たしたのだ。

萩出身、山田顕義が学祖の日本大学
元広報部次長

山本博通さん

ひろみち
(東京都在住、67歳、萩昭和43年卒)



活躍した志士や著名な人達がよく利用した宿です。

山田顕義は萩藩士山田七兵衛の長男として生まれ明倫館松下村塾で学び吉田松陰の門下生として薫陶を受けた塾生の一人です。動乱期には高杉晋作、久坂玄

山田顕義とゆかりの宿・瓦屋

山口市湯田温泉にある松田屋ホテル敷地（瓦屋跡地）に「山田顕義と瓦屋」の顕彰碑が建立されました。

平成28年7月9日に除幕式が執り行われ、瓦屋の子孫である鹿嶋あい子さん、松田屋ホテル・松田康義社長、日本大学校友会・大隅博志山口県支部長、日本大学・小関勇副学長等、約40名の関係者が出席し、慕が引かれました。瓦屋は山田顕義夫人となった鹿島喜右衛門の長女龍子の生家であり、幕末から維新そして明治期にかけて



日本大学の学祖
山田顕義（1844～92）



松田屋ホテル駐車場敷地にある「山田顕義と瓦屋」顕彰碑（左）と「史蹟瓦屋跡」石碑

して明治18年の伊藤博文内閣では初代司法大臣に就任し日本の法典編纂に深く関わり、明治22年には日本大学の前身である日本法律学校を設立。政治・司法・教育の発展に尽力しました。

日本大学は平成31年10月に創立130周年を迎えます。現在は16の学部を抱える日本一の規模を誇る総合大学です。各学部が連繋し総合力が十分に発揮できれば、世界有数の大学になりえると思います。日本大学が130周年を節目に、さらに大きく飛躍する事を期待しています。

萩高校20同期会

11月13日に萩高校20期の会が予定されているので私は東京から、数日早めに新幹線で帰省しました。新山口駅で降りて、いつも萩セン



萩高20同期窓会（東京）

無人で一車輛だけで走っています。窓からしばらく外をながめっていると昔の記憶が少しずつ蘇ってきました。溪流のそばや鬱蒼とした山あいをまったりと走る様は、昔も今も同じで時間を感じさせません。

萩高校20期の会は菊ヶ浜の千春楽で開催され、当日は各地から84名の出席がありました。高校時代当時の昔話にそれぞれのテーブルは大いに盛り

上がりました。最後は懐かしいフォークダンスを踊ったり、大声で校歌を歌って閉会になりました。幹事さんや協力いただいた皆さん、それに20期の仲間感謝申し上げます。

プロフィール

1949年（昭和24年）12月生まれ、67歳、萩市新川南で生まれ育つ。
昭和40年萩第一中学校卒業、昭和43年萩高等学校卒業（20期）、昭和47年日本大学法学部卒業後、日本大学勤務（職員）。平成14年に日本大学法学部事務長、24年に日本大学本部広報部次長、26年12月定年退職。

国勢調査確定値

萩市の人口 4万9560人
平成17年の合併時から8430人減少

平成27年10月に実施された「国勢調査」の確定値が発表された。

萩市の人口は5年前の平成22年に比べ、4187人減（△7.8%）の4万9560人、世帯数は623世帯減（△2.8%）の2万1620世帯。

平成の大合併、10年前の平成17年と比較すると、萩市全体で5万7990人だったが8430人、14.5%の減少、旧町村部でも最も減少率が大きかったのはむつみ地域で24.6%減、最も小さかった

	平成17年	平成27年	減少数	減少率
萩	43,705	38,343	△ 5,362	△ 12.3
川上	1,123	859	△ 264	△ 23.5
田万川	3,407	2,744	△ 663	△ 19.5
むつみ	1,970	1,486	△ 484	△ 24.6
須佐	3,409	2,657	△ 752	△ 22.1
旭	2,010	1,645	△ 365	△ 18.2
福栄	2,366	1,826	△ 540	△ 22.8
萩市計	57,990	49,560	△ 8,430	△ 14.5

阿武町	4,101	3,463	△ 638	△ 15.6
長門市	41,127	35,439	△ 5,688	△ 13.8

たのは旭地域で18.2%減でした。

全国的に人口が減少する中、日本海側の各都市の人口はかなり急テンポで減っている。隣の阿武町は、34663人で平成17年に比べ638人、15.6%の減少、長門市は3万5439人で5688人、13.8%の減少。

なお、山口県の人口は、140万4729人で前回調査より3.2%減少し、全国順位は25位から27位に後退。人口に占める65歳以上の割合は32.1%となり、全国で4番目に高い。

■萩の未来像は

野村萩市長は、萩市の未来像について「観光を基軸にしなから交流人口を増やしていくことで、人口減少に耐えられるようにしっかりと萩の良さを守っていく。学ぶ観光などいろいろな形の観光を考えていく。そして若い人が定住できるように知恵を出し合っていく。増加しないまでも何とか今の人口を下支えしていけるのではないか。今あるものを壊してしまつと、それで終



橋本川から対岸の三角州や指月山が一望できる

気兼ねなく宿泊できる宿として里帰りの方に人気！

「萩の風を感じる宿
～レンタルハウスはぎ風鈴」
椿青海にオープン！

約3年前（平成25年8月）に、萩市内で初めてとなる貸別荘スタイルのレンタルハウスが、橋の橋本川沿いにオープンした。経営者は土原で民宿を40年以上続けている「民宿ふるさと」に嫁いだ平田洋美さん（44歳）。個人経営の隠れ家風の宿ですが、萩市へ里帰りされるご家族を中心に、リピーターの方が増えてきました。

山口県内でも珍しい1棟貸切で1日1組限定の貸別荘スタイルです。わかってしまつ。萩は近代日本を支えた歴史を語る事ができるまっ、それを大事にしていきたい」と話しています。

。三角州を対岸から眺める川沿いの好ロケーション

。1組限定のゆったりとしたプライベートな空間（1LDK・8畳の和室）

。大型テレビ、IHキッチンなど最新の家電設備（食材の持ち込み可）。車で5分圏内にコンビニ、スーパー、駅、病院など好立地

宿泊されるお客は、萩でのんびり癒しの時間を過ごしたい観光客他の宿泊客に気兼ねなく宿泊したい小さなお子様連れの観光客のほか、萩市に里帰りされるご家族連れで、実家では布団が足りない、気兼ねするなどの理由で連泊や毎年宿泊される方が増えている。

静岡県出身の平田さんは「最近少人数での自分プランの旅行スタイルが増えている中、新しくレ

ンタルハウスを立ち上げることで萩市に新しい風を吹かせることができました。気兼ねなく宿泊できる宿として観光客や里帰りの方に人気です」と萩出身者に呼びかけています。

■住所 〒758-0061 萩市椿4163-2

■基本料金 1泊2万8000円（4名まで）最大6名（+2000円/人）

■申し込み じゃらんnetに登録、ホームページに部屋写真

www.hagifurin.com/
☎0838-21-7559（民宿ふるさと内）



萩市民病院の近くにある木造平屋建ての貸別荘

代表 藤田 洪太郎 さん

(72歳、萩昭和38年卒)



その辺りからも、もともと探究心の強い方だとかかえ、そのことが萩硝子の復刻を可能にした大きな原動力だと感じることができました。

萩硝子復刻への道

ある時、東京での講演会で、中島治平という窯業技術者が幕末の萩にいたという話を聞き、大いに関心を抱くようになった藤田さんは、門外不出の古記録を読み漁りたい一心で、浜崎の中島家までコピー機を運んで、その記録を手にしたとのこと。そして、彼が成し遂げることのできなかつた高品質の萩硝子をつくるために、生まれ育った笠山にある石英玄武岩(安山岩)を素材とした耐熱で高硬度のカリガラスへの挑戦を始めた。

「地元で取れる材料。1520

℃での全自動操業の窯を維持できるセラミックスの技術。萩硝子の歴史的背景。昭和61年脱サラ後、仲間と共に設立した日本特殊セラミックス(株)で得たベンチャービジネスのノウハウ。更には観光地という立地条件。あとは腕の良いガラス職人が来てくれれば、同業他社に勝てるかと確信を得た」と当時を振り返って藤田さん。

その後、当時日本一と言われていたガラス職人・中島九州男さんを1年間かけ「俺と一緒に中心してくれ」と口説き落とし、平成4

年、萩硝子の復刻を成し遂げた。

産業確立への思い

現在も大阪にある日本特殊セラミックス(株)の社長を兼務している藤田さんは、マーケティング、ブランドディング、マネジメント等々、新しい産業を確立するための方針は、自立を目指す職人育成の場にも大きく表れています。

社員は、基本的には入社5年で退社を奨めて海外へ留学させる。入社時には、その重資金を確保するために、毎年100万円貯められなければ解雇すると約束させる。残業代を支払ってまで学ばせる英会話等、一人前の職人になつてもらうための環境が知れわたり、毎年十数倍もの狭き門に希望者が殺到しているという。

「萩は優秀な人材が集まらないと嘆くけど、それは嘘。魅力のある仕事やモノを作れば人は集まる」と、築いてきたものへの自負を口にされます。

今後を見据えて

25周年を迎えるにあたって、記念の小宴を1月下旬に開く。その動機を聞くと「まずはお世話になった人々への感謝の気持ち。そして100年後、200年後にも誇れるものを作り上げてきたという達成感」、「萩ガラス工房は自分の子どもたちではなく、今後は『や

る気』があつて経営能力があれれば、いつでも誰でも継承はかまわない」と言われ、萩ガラス工房から身を引くことも示唆された。「後継者不足については、経営マネジメントをきちんと学んでくれるような、例えば地域おこし協力隊員を育てていくなど、行政にもできることがあるはず」と提言され、萩を思う気持ちは衰えることなくご健在でした。

☆「復刻品 天開ワイングラス」を5名様にプレゼント



■萩ガラス工房有限公司

資本金：2,000万円

従業員数：9名

事業内容：ガラス工芸品・ファインセラミックスの製造販売

住所：〒758-0011 萩市椿東越ヶ浜1189番地の453(明神池あがる)

営業時間：9:00～17:00(年中無休)

TEL：0838・26・2555

HP：http://www.hagi-glass.jp/

「秋野菜ピクルス」がグッドデザイン賞を受賞

合同会社J-N-R代表 椋木章雄さん

(35歳 秋高平成12年卒)



合同会社J-N-Rが製造販売する「秋野菜ピクルス」が、2016年度グッドデザイン賞社会貢献部門（公益財団法人日本デザイン振興会主催）を受賞しました。代表の椋木章雄さんにお話を伺いました。

野菜販売からピクルス製造へ

28歳の時に、東京からUターンし、秋の農産物の現状を知ったことから、4年前、秋で採れた野菜を「秋野菜」と名付けてブランド化を目指し、合同会社「J-N-R」を立ち上げました。契約農家14軒から仕入れた野菜を地元スー

パーで販売。徐々に知名度も高まり、山口市内に店舗を構え、更なる販路拡大を目指していた時、転機を迎えます。

ある大手スーパーに営業へ出向いたところ、既に地産地消は珍しくなく、「4年前だったなら、こちらからお願ひした」と言われてしまいます。しかし、相手が欲しいと思うものを提供すれば、大手側からお願ひされることもあるのだと気づき、加工品ならば可能なのではないかと考えました。

そんな中、農家さんから、「規格外の野菜をどうにかしてくれないか」という相談を受けます。ま

た、その頃、ある農家さんのところで、無造作に瓶詰されている自家製ピクルスを目にし、その美しさに衝撃を受けました。ピクルスであれば、規格外の野菜でも切つてしまえば気にならず、自分でも取り組みやすいのではないかと思ひ、ピクルス製造に着手することになりました。

試行錯誤のピクルスづくり

それからは、休日を利用して全国各地のピクルスを食べ歩きしました。かつてピクルス専門だったとあるバーへ行った際、人気が高かったのが「らっきょうのピクルス」だったと聞きます。実際に食べてみると、単なる「甘酢漬け」だったことから、私の中のピクルスの概念が一気に広がりました。

そこで、日本人に馴染み深い千枚漬けをヒントに、昆布を使用した和風味をはじめ、カレー味、洋風味の3種類を開発。昆布や酢もさまざまなものを試し、配合も試行錯誤を重ねました。また、商品ロゴやパッケージのデザインなども、全て私一人で行いました。商品自体がアイキャッチとなるよう、商品名はあえて自立たないようにし、野菜自体の色が主役となるデザインにこだわりました。

グッドデザイン賞受賞

発売当初は、道の駅や若国錦帯

橋空港の売店、インターネットなどで販売していましたが、現在では、百貨店やギフトショップなどでも取り扱っていただけており、2年間で2万5千本余りを販売することができました。しかし、その一方で、類似商品も見かけるようになり、そこで、自分のブランドを守るためにも、「秋野菜ピクルス」が何か一つの形として評価を受けることができればと思ひ、2016年度のグッドデザイン賞社会貢献部門に応募します。

秋野菜ピクルスは、規格外の野菜を使用していますが、野菜は、必ず農家の言い値で買い取っています。規格外であろうと費やす労力は同じです。捨けられるはずだった規格外野菜に高付加価値をつけることで、実質的な農家の収入の一助になりたいという思い

で取り組んでいます。また、過去の産業に頼るのではなく、今から100年後に続く伝統を創りたい。秋に新たな産業を生み出したという思いでピクルスを製造しています。二次審査のプレゼンでは、そんな商品の背景についてもお伝えしたところ、商品デザインはもちろん、そういった社会性も高く評価していただきました。

次なる挑戦

受賞を機に、更なる販路拡大につながるべくという思いもあります

が、私自身は、既に次に向けて進んでいます。現在、山口市内の住宅地に店舗を構えています。少し分かりづらい場所にあるため、集客が少ないのが現状です。そこで、16年11月からはピクルスをふんだんに使用したサンドイッチを販売し、ご好評いただいています。将来的には、秋市内に自社農場を持ち、雇用を生むことができればと考えています。そうであれば、本当の意味で秋の農産物に貢献することはできないのではないかと思います。その農場で採れた野菜を使用したカフェも経営し、人が集まる空間も提供できればと思っています。

■秋野菜ピクルス山口店
住所：山口市旭通り1-7-5
営業時間：10時～18時
定休日：日曜日
■問い合わせ 合同会社J-N-R
1(083392993636)



1本750～950円(税込)
☆ピクルス3本セットを2名様にプレゼント

松陰神社に「立志殿」完成

松陰の志に感銘、
千葉の実業家が寄付



参道横の立志殿、上田俊成名誉宮司

松陰神社（権東）入ってすぐ左

の参道横に、新しい研修施設「立志殿」が、松陰の命日にあたる10月27日完成した。立志殿は鉄筋2階建て、延べ約760㎡、1階は集会や講演会が開ける約80畳の大広間「参集殿」、2階は会議室や事務室などがある。建設は2016年9月まで宮司を務めた

上田俊成・名誉宮司の悲願だった。事業費約3億3千万円は、首都圏を中心に回転すしチェーンを展開する「銚子丸」（本社千葉原）の創業者、堀地速男さん（6月に75歳で死去、富山県出身）が大半を寄付した。

堀地さんは若いころにイギリスの作家ステューブソンの伝記『吉田寅次郎（松陰）』（吉田松陰全集）別巻に所収、大和書房刊）を読んで感銘を受ける松陰の志を胸に起業、首都圏で90店

余りを展開するまでに成長させた。

上田名誉宮司は「堀地さんは松陰先生の志をベースに事業展開されてきたので、恩返しとして社会還元がしたい。松陰の地元秋市に松陰の教えを発信できる何かを残したいとのご希望だった。現代の松下村塾として活用してほしい」と話している。

11月には、松陰の業績を顕彰し普及させる「崇敬会」（会長：山本貞壽）も設立された。堀地さんは生前、『志が人と組織を育てる』が吉田松陰から学んだ理念』を出版している。



「志が人と組織を育てる」
（廣済堂出版）
定価 1300円（税別）
※資料としてステューブソンの「吉田寅次郎」の原文、和訳を所収

「歴史画集 ガラシヤよりひとすじの道へ」を出版



せいこう
内田 青虹さん

（82歳、萩高昭和28年卒）

東京都在住の日本画家、内田青虹さんが2016年10月に「歴史画集 ガラシヤよりひとすじの道へ」を美術年鑑社から出版。

わが国では数少ない歴史画家と

しての内田さんの画歴は30年に及び、新興展出版をはじめとして精力的に絵筆をふるってこられた。この歴史画集は、歴史画家としての集大成といえるもので、細川

ガラシヤをモチーフとした作品に続き、卑弥呼、建礼門院、吉田松陰など古代から近現代に至る様々な人物を描いた作品が年代順に掲載されている。内田さんは、「次代を担う若い方に、日本の歴史をまず絵で見てこの人物はいつの時代に何をした人かと興味を持って、日本人として歩んできた歴史を感じてもらいたい」と話している。

A4変型版、112ページ
定価2500円（税別）
美術年鑑社（03・3293・7481）
☆歴史画集を5名様にプレゼント

時事エッセイ集を自費出版



みちかず
松原 満和さん

（61歳、萩高昭和49年卒）

萩市の社会保険労務士で、労務専門の経営コンサルタント、松原満和さんがエッセイ集「自分史的時事論断」私の感じたこと①」を自費出版した。

松原さんは、毎週土曜日、定期的にA4サイズの「ウィーンウィーン ニューズ」をアクセスで送信、その中に時事コラム「先週の主として私の感じたこと」を掲載。フア

クスニューズ500号発行を節目に、2006年7月から16年2月まで10年間の384編のコラムをまとめたもので、幅広い知見から持論を展開している。松原さんは、萩市大島出身、立命館大学を卒業後、萩信用金庫に勤務。1991年から地元の河村建夫衆院議員秘書を務め、2006年に自身の社会保険労務士事務所を開設。

B6版、418ページ
定価1300円（税別）
希望者は「まんわ経営労務」事務所（0838・21・1033）まで。

下瀬信雄さん 中国文化賞を受賞

萩を拠点に写真を撮り続け半世紀



中国ゆかりの文化・芸術・学術・教育・地域貢献の各分野での功績をたたえる「中国文化賞」（中国新聞社主催）を、11月10日、萩市瓦町の写真家、下瀬信雄さん（72

歳）が受賞した。今年は73回目、戦前からある中国地方を代表する賞。萩出身者では10年前の三輪休雪さん、5年前の波多野善蔵さん（指月窓）以来となる。今回はデザイナーの森英恵さん（島根県吉賀町生まれ）、ミステリー作家の島田莊司さん（広島県福山市生まれ）の両巨匠ほか7人が受賞した。下瀬さんは、育った萩市を拠点に半世紀、萩の町や自然の写真を撮り続けている。萩市周辺の風景を題材した「結界」シリーズは、2005年、カメラメーカーニコン主催の伊奈信男賞に輝いた。2015年には写真集「結界」で写真界を代表する土門拳賞も受賞した。下瀬さんは遅咲きと称されるが、「今思えばそれが良かった。結界シリーズは未だ途上にある。撮り続けて深めていけば分かることもある」と話している。

12月には東京銀座ニコンサロンで「つきをゆびさす」シリーズの写真展、1月には大阪ニコンサロンで同写真展。また山口市では写真展「『天地結界』の二十年」が開催される（詳しくは14ページ）。

全国公募の萩大賞に萩市の渋谷英一さん

（37歳、明木）



渋谷英一さん（椿）の作品「黒彩器―相―」が選ばれた。

萩大賞展は2007年からトリエンナーレとして3年ごとに開かれ、今年で4回目。山口県の作家が萩大賞を受賞するのは初めて。

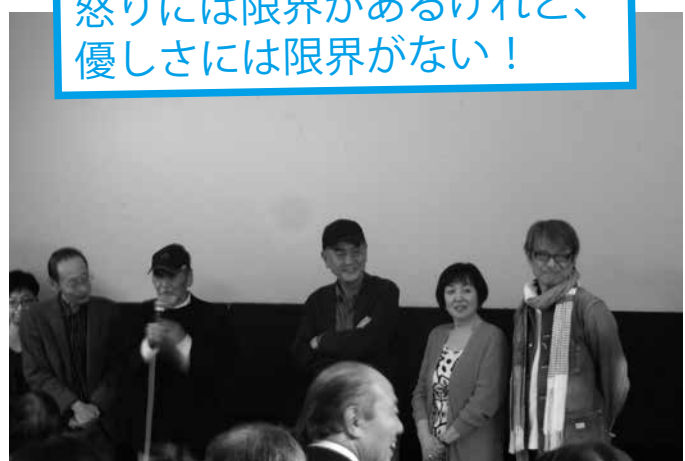
陶芸をテーマにした公募展「現在形の陶芸 萩大賞展」が、県立萩美術館・浦上記念館で1月29日（日）まで開催中。最高賞の萩大賞には、萩市明木「御台場窯」の

今回は194点の応募があり、入賞・入選は126点、萩市内の入選・入賞者は14人（14ページ）。受賞作は、手びねりで制作した幅60センチのモノトーン作品。渋谷

さんは「動きがある造形と静謐な色で、動と静の組み合わせを表現した」と話した。全方位から見えるよう展示してあるので、ぜひ上から開口部をみてほしい。見た目よりずっと広大な空間を感じるはず。渋谷さんは西田町出身、明倫小、明経中、萩工業高校を卒業。祖父は萩焼職人で北古萩に窯を持ち、25歳で実家の窯で働き始め、3年前に明木に窯を移設した。2011年に常滑陶芸展記念大賞を受賞するなど、若手萩焼作家の一人として注目されていた。

映画「八重子のハミング」山口県内の先行上映が好評

怒りには限界があるけれど、優しさには限界がない！



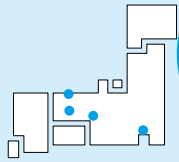
△萩市での先行上映前夜祭（ツインシネマ、10月28日）右から升毅さん、高橋洋子さん、佐々部清監督、原作者の陽信孝さん、スチール担当の下瀬信雄さん

映画は萩市椿の金谷天満宮の宮司、陽信孝さん（77歳）の介護体験を綴った本「八重子のハミング」（小学館）を原作に、下関市出身の佐々部清監督がメガホンを取った。撮影は萩、下関、周南市で行われ、老老介護の厳しい現実に向かいながら、闘病生活を通じて家族の絆や夫婦愛を描いている。

10月末から山口県内の萩、下関、宇部、周南の各市などで先行上映され、好評を博している。2017年5月から東京、大阪、福岡などで順次公開される予定。萩ツインシネマ（萩市東田町、0838・26・6705）では5月まで上映する予定。

佐々部監督は「認知症や老老介護という、これから日本が抱える大きなテーマを扱っていますが、最終的にこの映画を見て感じてほしいのは、『家族愛』です。主演の升毅さん演じる主人公の「怒りには限界があるけれど、優しさには限界がない」というセリフがありますが、それを全編通して感じていただければ」と話している。

【上映予定】
▽1月6日（金）～15日（日）山口情報芸術センター（083・901・2222）
▽5月、東京 有楽町スバル座（03・3212・2826）



会員投稿

10月1日 千春楽(萩市)

指月中16期(昭和38年度卒)同窓会



指月中学校卒業の歴代の先輩方に続き、今回38年度卒業生「萩ネットワーク」上での初お披露目となりました。10月1日(土)堀内「千春楽」にて開催(当日、菊ヶ浜、その横にそびえる指月山が私達を迎えてくれました)。指月中16期同窓会は、平成22年より3年毎に開催し、今回で3回目と迎えることとなりました。

全国より同窓生53名(萩市在住が約半数)が集い、加えて熊本群田布施町在住の恩師「岡村精展先生」ご出席という嬉しいサプライズもありました。今回3名の方が初参加、約半世紀振り、また3年振りの再会を楽しむ人、ステージ上での「二人羽織」「福笑い」のゲームに、年を忘れての大活躍に、みんな大笑いのシーンもあり、「カラオケ」もあり楽しい一時もあつというまに過ぎていきました。

次回からは2年ごとの開催とし、平成30年(71歳)の再会を約束し、菊ヶ浜のさざ波に、別れを告げました。

河村章(大阪府枚方市)

会員投稿

11月7日 美々卯本店(大阪市)

明経中16期(昭和38年卒)関西在住者同期会



昨年、明経中第16期卒全体同期会を大阪で開催した時、関西在住者だけで「毎年会いたい」の声から今年11月7日に大阪美々卯本店で13人が集まり楽しいひと時を過ごしました。今回、東京と長野から2人特別参加もあり、特に東京の方は54年振りの初参加で新大阪駅まで迎えに行った時、横をすれ違っても気づかず、波乱のスタートでした。宴会では「54年振り！」と笑顔が花を咲かせ2次会ではカラオケも楽しく大変盛り上がりました。これからも毎年元気な姿を見せようと再会を約束し盛会のうち散会しました。この記事を見られた明経中第16期卒業の同期生の皆さん、関西在住者に限らず、参加ご希望の方は下記へ連絡してください。

3年1組 井上紀生(滋賀県野洲市、090・5160・2288)

会員投稿

10月13日 目黒雅叙園(東京都)

最後の萩高東京7期(昭和30年卒)会



萩高東京7期会は萩高7期卒業で東京近郊に居住する同期生の親睦会です。本会は、昭和47年以来毎年幹事を定めて会食や旅行などの行事を行い会員の親睦を図って参りました。しかしながら今年大方の会員が傘寿を迎えるに当たり、会として41回目となる集いを開催し、これをもって公式な行事は終了する事としました。10月13日、目黒雅叙園において萩や宇部、関西方面からの参加者も含め34人の同期生と家族の方2人総勢36人が集い、旧交を温めるとともに和やかで楽しいひと時を楽しみました。

幹事 羽仁利幸(神奈川県相模原市)

会員投稿

10月18、19日(姫路市)

萩高10期(昭和33年卒)同期会



今年で14回目となる萩高10期同期会は、関西地区幹事のお世話で10月18、19日、姫路にて26人が参加して開催されました。第1日目は、塩田温泉のある夢前のホテルにて懇親会。校歌斉唱の後、喜寿を祝って乾杯、黄綬褒章受章の竹内重信さんを会表彰、地区参加者代表の挨拶と続いて、会食、歓談、カラオケと皆さん、再会のひと時を楽しく過ごしました。

翌2日目は、秋晴れの中、世界文化遺産姫路城を訪問。天守閣登城挑戦チームと敬遠チームとに分かれ、ガイドの案内に400年の歴史を辿り、2時間の見学を終了。最後は、駅前のホテルでバイキング昼食会。「来年は、萩で」の再会を約束して皆さん、無事、帰路に着くことが出来ました。

山口雄三(神奈川県横須賀市)

第5回萩在京高校同窓会

10月22日 日本工業倶楽部(東京都)

東京指月会、つばき会関東支部、光友会(萩光塩学院同窓会)

4年に一度のオリンピックイヤーに開催される合同の同窓会に東京指月会(萩高)173人、つばき会関東支部(萩商工)47人、光友会(萩光塩)20人、来賓12人の総勢252人が集いました。

東京指月会の引受期が中心に準備を進めましたが、在京同期が少なく、遠方からの応援や先輩、後輩、つばき会、光友会の方々の協力を得て無事挙行することができました。同期の久賀君が主宰する劇団員のダンスや三会同の福引などで大いに盛り上がり、例年とは違った、よりローカルな小・中学校の繋がりが確認できた事も嬉しいことでした。

次回は東京オリンピックの年ですが、各会、毎年多くの皆様の参加をお待ちしております。

東京指月会引受期代表 萩高38期(昭和61年卒) 多田信嗣



つばき会関東支部



東京指月会引受期



光友会

10月18日 翠山荘(山口市)

山口指月会



山口指月会の総会・懇親会は、毎年、萩高開校記念日の10月18日に開催しています。

ここ数年は50人台で推移していた参加者数も、平成28年は60人の方々にご参加いただきました。あちこちで昔話に花が咲き、近況を報告し合うなど、大変盛会でした。

また、役員改選もあり、会長職が、4期12年務められた東章会長(高校9期)から、片山雅章副会長(高校17期)に引き継がれ、東会長は顧問に就任、副会長等の役員には、今回新たに4人の方々に加わって頂きました。

平成29年もまた、この会への多くのご参加をお待ちしています。

幹事長 中原重政(山口市)

10月22日 ホテルサンルート徳山(周南市)

つばき会周南支部総会



第13回つばき会周南支部総会と懇親会を、10月22日に周南市で開催しました。

出席者は来賓と合わせて25人で楽しい集いとなりました。

総会は、校歌斉唱から始まり福井支部長の挨拶、山崎教頭からの萩商工の今年度取り組み状況の報告がありました。

懇親会では、萩のご当地クイズやビンゴ大会で盛り上がり、最後に万歳三唱で来年も再会を誓い終了致しました。

事務局 中村好男(光市)



情報アラカルト

関東地区

- 「岡田裕・泰父子展〜萩に生きる〜」
1月11日(水)〜17日(火)
東京都中央区日本橋室町1・4
日本橋三越本館6階美術特選画廊
(03・3274・8472)
- 「兼田昌昭展」
2月9日(木)〜14日(火)
東京都大田区田園調布2・44・8
Kizari 輝山
(03・3722・3510)
- 「近代工芸と茶の湯II」
三輪和彦の茶碗が出品されています。
2月19日(日)まで
東京都千代田区北の丸公園1・1
東京国立近代美術館工芸館
(03・5777・8600)
- 「第58回日本陶磁協会賞受賞作家展」
三輪和彦のテーマ作品「ONL Y 椀」が出品されます。
2月3日(金)〜12日(日)
東京都中央区銀座4・5・11
和光ホール
(03・3562・2111)
- 「三輪和彦 エル・キャピタン」
2月17日(金)〜21日(火)
東京都渋谷区渋谷1・16・14
しずや黒田陶苑

(03・3499・3225)

現代の茶陶

- 「現代の茶陶」
三輪和彦の茶碗が出品されます。
1月2日(月)〜3月12日(日)
茨城県笠間市笠間2345
茨城県陶芸美術館
(0296・70・0011)

内田青虹 歴史画展

- 「内田青虹 歴史画展」
3月14日(火)〜20日(月・祝)
東京都中央区八重洲1・5・15
田中八重洲画廊
(03・3271・7026)

関西地区

- 「下瀬信雄 写真展「つきをゆびさすII」」
1月19日(木)〜25日(水)
午前10時30分〜午後6時30分(最終日は午後3時まで)
大阪市北区梅田2・2・2ヒル
トンプラザウエスト・オフィスタワー13階ニコンプラザ大阪内
大阪ニコンサロン
(06・6348・9698)

中国地区

- 「十二代三輪休雪展「折り花よ咲け」」
1月11日(水)〜16日(月)
広島県福山市元町1・1
福山天満屋6階美術画廊
(084・927・2111)

山口県関係

下関市立歴史博物館 開館

幕末維新発祥の地・長府に歴史博物館が11月18日にリニューアルオープン。全国トップレベルの坂本龍馬ゆかりの品をはじめ、古代から近世までの下関を紹介しています。

下関市長府川端二丁目2・27
(083・241・1080)

下瀬信雄写真展

「天地結界」の二十年
1月12日(木)〜22日(日)
※16日(月) 休館
午前9時〜午後5時

作家によるギャラリートーク
1月14日(土) 午後1時〜2時

山口市中河原町5・12
クリエティブ・スペース赤れんが
(083・928・6666)

萩市関係

「現在形の陶芸萩大賞展」

萩市の陶芸家 渋谷英一、岩崎真理子、岡田泰、金子司、兼田知明、玉村信一、止原理美、船崎透、松浦洞心、松浦無元、松尾凜風、松尾昌華、松尾優子、宮田佳典の作品が入選し、展示されています。
1月29日(日)まで
萩市平安古町586・1
山口県立萩美術館・浦上記念館
(0838・24・2400)

■萩・世界遺産「ジターセンター」

東京・浅草「まるごと」に「ぼん」萩市のアンテナショップが1周年

2015年12月17日にオープンした、東京・浅草にある商業施設「まるごと」に「ぼん」が開業1周年を記念して、大感謝祭を実施。

この施設は、47都道府県の「ふるさと」が一堂に会する試み「まるごと」に「ぼんプロジェクト」で、手間ひまかけた本物の逸品、全国の隠れた名産品を日々紹介し、次世代に向けて日本の古き良き伝統や食文化、製品を後世につなげることを目的にしています。

この館内2階には、萩商工会議所が「萩の風」という店名で、全国に誇れる萩の特産品を展示販売しています。また、3階では全国から20の市町村が集まって情報発信をおこなうブースがあり、そこには萩市が出品して地域の魅力を紹介しています。

○1周年まるごと大感謝祭

12月16日(金)〜1月15日(日)

まるごと福袋販売、クイズラリー、ものづくり体験等多数

○「萩サテライトフェア」

12月25日(日)〜1月9日(月)

夏みかん製品、蒲鉾、海産物の即売

○「萩まるごと発見フェア」

1月7日(土)・8日(日)

萩市観光クイズラリー、萩焼ろくろ実演、地酒試飲、抹茶接待等

東京都台東区浅草2・6・7
まるごと「ぼん」2階
(03・5828・5055)

営業時間 午前10時〜午後8時
(年中無休)

(問)萩商工会議所

(0838・25・3333)

※次号で「萩の風」を紹介します。

日本伝統工芸展

陶芸家 岡田泰、岡田裕、波多野善蔵、松尾凜風の作品が入選。

1月2日(月)〜22日(日)

高松市玉藻町5・5
香川県立ミュージアム
(087・822・0002)

1月25日(水)〜30日(月)

仙台市青葉区一番町4・8・15
仙台三越
(022・225・7111)

2月3日(金)〜8日(水)

福岡市中央区天神2・1・1
福岡三越
(092・724・3111)

2月16日(木)〜20日(月)

大阪市中央区難波5・1・5
大阪高島屋
(06・6631・1101)

2月23日(木)〜3月12日(日)

広島市中区上鞆町2・22
広島県立美術館
(082・221・6246)

学び舎

2月12日(日)まで

午前9時〜午後5時(最終)入場
午後4時30分

旧明倫小学校体育館

萩市江向602萩市役所前

(0838・25・1750)

九州地区

■「玉村信一作品展」

3月21日(火)〜26日(日)

福岡市中央区天神2-1-1

福岡二越9階石田屋三越美術画廊

(092・726・7789)

出版情報

■山口県ゆかりのお店ガイドブック VOL.6

首都圏で山口県の味覚を楽しめる飲食店など163店舗を掲載。10月発行の第6弾。おすすめ料理や山口県出身店主の人となりなど山口の食や観光を紹介。持ち運びに便利なA6版、154ページ。

新規(再)加入会員

井町将仁 (東京都江東区)

藤原寿美代 (山口県)

岡田悦子 (神奈川県海老名市)

吉崎信次 (東京都江戸川区)

伊田由美子 (東京都杉並区)

水津弘美 (千葉県船橋市)

細野和子 (東京都江東区)

網屋洋文 (神奈川県横浜市)

伊藤理子 (千葉県船橋市)

田中昌一 (宮城県仙台市)

奥田博 (千葉県白井市)

櫻井光弘 (三重県亀山市)

大治由可 (福岡県久留米市)

田村緋紗子 (東京都新宿区)

三明紀久江 (神奈川県厚木市)

大谷伸樹 (東京都品川区)

田中亮大 (東京都世田谷区)

天宮美佳 (東京都目黒区)

杉本好照 (秋市)

井町建夫 (滋賀県大津市)

中島照久 (秋市)

山田美千代 (愛知県瀬戸市)

福田寛美子 (奈良県三郷町)

田中孝子 (大阪府高槻市)

吉村昭子 (大阪府柏原市)

竹下ゆきえ (京都府京都市)

伊藤笠子 (兵庫県宝塚市)

村山英子 (大阪府枚方市)

吉野貢 (秋市)

田村秀施 (秋市)

恵美奈大作 (東京都目黒区)

藤井通生 (東京都練馬区)

酒井悦子 (東京都練馬区)

横田佳隆 (千葉県柏市)

井町充 (千葉県柏市)

水津秀晴 (東京都世田谷区)

西郷寿 (埼玉県越谷市)

佐藤光恵 (兵庫県尼崎市)

眞淵瑤子 (大阪府豊能町)

前原和子 (大阪府東大阪市)

阿武猛 (秋市)

(10月22日〜12月21日) 41人

おいでませ山口館(中央区日本橋)、山口宇部空港、JR新山口駅などで配布しています。

(問) 県東営業本部 東京売り込みセンター(03・3502・3355)

■季刊「猫ぐらし」冬号(11月)

萩市観光&猫補給スポット、むつみの雲林寺などをキャラクター「萩にゃん」と一緒に案内する「萩で猫めぐり」の特集。

テレビ・映画情報

■「はじめてのおつかい!爆笑!2017年大冒険スベシャル」

萩市の子どもが萩博物館と田万川道の駅へおつかいに。

1月9日(月・祝)午後7時〜9時54分

全国日本テレビ系列

■NHK山口発地域ドラマ「朗読屋」

山口県が生んだ詩人・中原中也の詩を軸に、美しい風景と詩の朗読が響きあうファンタジックで心温まる物語。萩市・須佐の海・漁港や図書館など懐かしい場所が登場。どんなシーンに登場するのか、お楽しみに!

1月18日(水)午後10時〜10時59分

NHKBSプレミアム

■映画「八重子のハミング」

1月6日(金)、7日(土)、8日(日)、9日(月・祝)、12日(木)、

13日(金)、14日(土)、15日(日)連日午前10時30分より特別セーリングショー(1回上映)(1月6日のみ午後1時10分の回あり)山口市中園町7-7

(0838・901・2222)

お知らせ

■第4回萩・幕末維新検定

萩ゆかりの人物や歴史をテーマにした検定で、今回から改訂版問題集(16年10月発行)より出題。

申し込みは1月20日(金)まで。2月12日(日)午前10時〜

萩市民館ほか

(問) 萩・幕末維新検定事務局

(0838・25・3290)

■「萩市ふるさと寄付」のお礼の品に宿泊施設利用券

萩市外在住の方で1万円以上のふるさと寄付をいただいた方に対して、お礼の品として萩の特産品(市内43事業者から131品目提供)をお贈りしています。

11月から新たに、市内3カ所の宿泊施設で利用できる「宿泊施設利用券」が追加されました。

①萩本陣の「会席料理のお食事と温泉入浴」

②萩の宿常茂恵「常茂恵御膳のお食事」

③民宿ふるさと「素泊まり一泊宿泊」

(問) 萩市企画政策課

(0838・25・3102)

プレゼント

①萩ガラス工房から「復刻版 天開ワイングラス」を5名様

②JINRIから「萩野菜ピクルス」3本セットを2名様

③「内田青虹 歴史画集」を5名様

④「萩・明倫学舎」のチケットをペアで5組

■応募方法 ハガキに品名、住所、氏名、電話番号、近況等を明記のうえ、萩ネットワーク協会プレゼント係まで。1月31日(消印有効)。

編集後記

・来年2018年は明治維新から150年の節目の年。政府が10月、「明治150年」関連施策の検討を始めたことを受け、山口県も記念事業推進プロジェクトを設置した。維新の風化が言われるなか、県広報では「明治改元から150年を迎える」とある。それに倣えば今年2017年は、昭和92年、戦後72年。戦後の枠組みが大きく変わろうとしている。

・番狂わせではない米大統領選。フランスの歴史家エマニュエル・トッドは選挙前に、米国民の3分の1を占める「中間層(大学中退者等)の革命」が起きていると指摘、最も説得的なコメントだった。

(広報特別参事 山本)

全国のネットワーク会員に、年6回隔月で郵送
発行月 1・3・5・7・9・11月号
(1994年10月創刊)
会費 一般2,000円、特別賛助10,000円
会員数 1,730人

イベントカレンダー

萩市観光協会 ☎0838・25・1750

- 1月10日(火)～3月31日(金)
◇萩まちじゅう味めぐり・
萩温泉郷湯めぐりキャンペーン 市内各所
- 2月3日(金)～4月3日(月)
◇萩城下の古き雛たち 旧久保田家住宅ほか
- 2月11日(土・祝)～3月20日(月・祝)
◇萩・椿まつり 笠山椿群生林
- 3月5日(日) 10:00～
◇萩・しろ魚まつり 山口県漁協萩地方卸売市場、道の駅「萩しーまーと」
- 3月12日(日) 10:00～
◇萩の真ふぐ祭り 山口県漁協萩地方卸売市場、道の駅「萩しーまーと」



萩・椿まつり

「椿」開花宣言

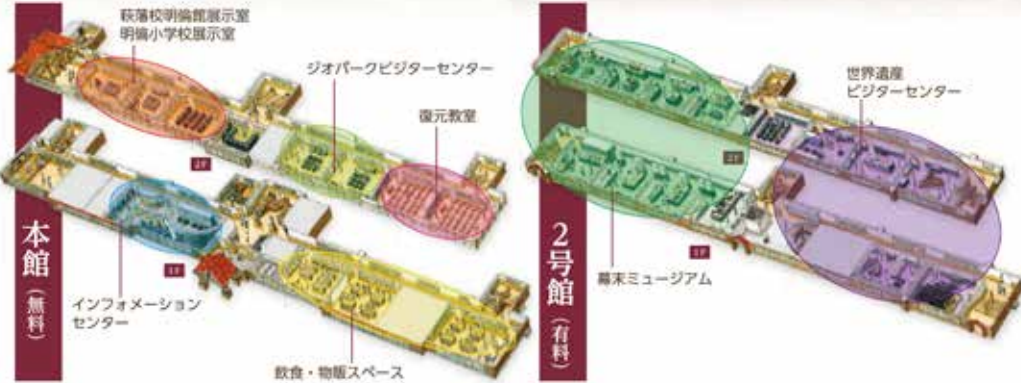
12月7日、約2万5,000本のヤブツバキが自生する笠山椿群生林のツバキの開花を宣言。例年より少し早めで花の咲く具合も多く、2月11日から春を告げるイベント「萩・椿まつり」が開催されます。

伝えたい物語が
ここにある。

平成29年
3月4日
オープン
【本館・2号館】

萩・明倫学舎

薄校路に建つ日本最大級の木造校舎が、萩の新たな観光地になる！



★「萩・明倫学舎」チケットをペアで5組にプレゼント

萩

明倫学舎
HAKI MEIRIN-SYOKUSHO

萩・明倫学舎 萩市江向602番地

開館時間 午前9時～午後5時
(飲食スペースは午前11時～午後9時まで)

観覧料 本館無料
2号館 大人300円、高校生200円
小・中学生100円(団体2割引)

駐車場 普通車 約180台(310円/1回)
大型バス 10台(1,030円/1回)

問い合わせ 萩市総務企画部 萩・明倫学舎推進課
TEL (0838) 25-3117

山口県立萩美術館・浦上記念館だより ☎0838・24・2400

現在形の陶芸 萩大賞展Ⅳ

1月29日(日)まで

萩大賞展は現代の陶芸のエッセンスを表現し、日本の陶芸の水準を示しています。

大賞作品は、視点を真上にすると独特の不定形が、強い力動感を与えると評価されました。

■観覧料 一般500円、70歳以上の方・学生450円

■休館日 12月26日(月)～平成29年1月1日(日・祝)、1月16日(月)

【普通展示】

江戸時代の神仏と信仰

1月2日～29日

豊原国周の役者絵

1月31日～3月5日

青磁の流れ

1月29日まで

朝鮮半島のやきもの

1月31日～5月28日



△萩大賞「黒彩器一相一」(渋谷英一)

萩博物館だより ☎0838・25・6447

萩・夏みかん物語

4月9日(日)まで

「萩」といえば「土堀と夏みかん」！そう連想されるようになったのには理由があります。

大阪、京都、兵庫(神戸)の夏みかんなど柑橘類を扱う問屋の引札(宣伝広告チラシ)を多数展示しています。



◇大阪天満市場の夏みかん問屋が配った引札(広告チラシ)
鯛にまたがる恵比寿様がやってきて七福神が揃うというめでたい柄

■観覧料

一般510円、高校・大学生310円、小・中学生100円

■休館日 なし(年末年始も開館)

【特別展】高杉晋作没後150年「高杉晋作の決意」(仮題)

4月13日～5月7日(予定)